

磐城日報

発行所 磐城日報社
電話(呼) 〇三三番
編集人 後藤幸夫
印刷人 丸山徳平
毎週水曜日休刊 購読料
一ヶ月三十四円 一部一円

平市の二大事業

相次いで完成へ!

古川改修と三十米道路が

平市を横断する新設三十米道路と古川改修の二大事業がいよいよ今年度と明年度へかけて完成し、平市の美化へ大きな役割を果す事となつた。

両側に緑地帯

三十米道路の美観

平驛前から新川に至る三十米道路は、米道新設は目下平野復興興事務所の手で着々と進められ、来年度には計画通り完成を見る事になつた。

新川河口に

逆流防止の水門

今年度は大谷、岡田、横山三氏の居宅を除いて、民家全部の移転を終り、下水用ヒューム管を埋設すると共に、一部車道歩道を設けるが、来年度は前記三氏の宅の移転をまづて本格的に道路の整備に當る事になつてゐる。

電話申込

設計書によると三十米道路は舗装される事になつており、又車道と歩道との間には巾員一米五〇の緑地帯が細長く両側に設けられてゐるので、これが完成の時は市の

平土木監督所では総工費二百五十人の失業者を連日、新川のはららんを防ぐも、川との合流地点より約七十

早くも殺倒、石城郡警崎村上湯長谷字目いの箇等より衣類二点時價

しであり、或は五百口位に達するのではないかと豫想されてゐる。向この申込みに、架設の割當は仙臺で決するが、おそくは十日内、外ではないかと見られてい

市の失業

平市ド木課では失業救済作業として、市街の荒廢地清掃作業を行つてゐるが、更に

救済順調

業として市街の荒廢地清掃作業を行つてゐるが、更に

荷満載のトラック

がけ下へ眞ツかさかさ

一棟全焼

永戸の火事

落盤で即死

十二日午後四時半頃石城郡

土藏破りの

女白浪檢擧さる

殺類三斗盜難

石城郡内郷町御厩上宿一三

優良貯蓄組合

郡ないの万三千圓の窃盗を働いてお

悪徳漢の横行

最近石城郡下に特殊事業基

五風十雨

職業安定所や勞基署などが、早

配給だより

平市配給課では三、四半期

スポーツ

磐城スポーツ連盟主催の平

配給だより

平市配給課では三、四半期

スポーツ

磐城スポーツ連盟主催の平

配給だより

平市配給課では三、四半期

条文違反断然多い 賃金不拂も多い

監督署から見た
最近の事業場

平労働基準監督署で取扱つ速度的に増加してトップを
た現在迄の条文違反件数は飾つており次は工場商店の
二百四十八件の多きに達し順となつて居る
ているが賃金台帳並に労働
者名簿の不備や例の十八才
未満の年少者を雇ふ事
業主の年少證明書の無届は
案外に少なくなつて居るまた
中小工業の労働者にたいす
る賃金未拂は非常に多く殊
に公園廢止后の小炭礦は加

御厩公民館問題

圓滿に解決

マコト會と共産黨提携

内郷町御厩部落民間に波もるが今後はこの假校舎を公
んをいがいた同村公民館開
題はその后マコト會と共産
黨細胞の提げが成立して
今回平穩裡に解決した同村
の有志連も二團體の妥協に
賛成して公民館問題を積極
的に應援十三日町當局に促
進委員、區長、學校長、青
年、婦人會長ら計十一名が
交渉することになつた現在
校舎不足のため元共同作業
場を校舎として使用してい

石城へも

レントゲン車来る
の有志連も二團體の妥協に
賛成して公民館問題を積極
的に應援十三日町當局に促
進委員、區長、學校長、青
年、婦人會長ら計十一名が
交渉することになつた現在
校舎不足のため元共同作業
場を校舎として使用してい

祝創刊 石城地方町村會

★☆☆ 僕は赤井の一小
炭礦に坑外夫と
して毎日ズリと
取組んでる勤勞
者であるが僕の
炭礦は全従業員僅かに十
二名であつてそれが至つ
ておとなしくみんな働い
ている、こういふと非常
に模範的の様に聞かれる
が實際はそうではない。
僕からいへると働くの
でなく動いてるのである
礦主は炭が賣れぬといつ
て賃金を運配してため
働くものは満足に榮養が
とれない、それだからと
て他の山へ行く事も出来
ずにいや／＼ながらブラ
下つてる始末だ、大炭
礦の兄弟は賃金あげろ、
何よこせと騒いでいるが
われ／＼から見ればそん
な話はゼイタクと思つて
るマウそではない、ば
くらの山に来て見給へ

赤井 一支柱夫

祝創刊

買いよ
くすりや

堀薬局

平市二町目
電三二六

磐城通運株式会社

平市田町六〇
電話三五五八

常磐交通自動車株式会社

取締役社長 野崎滿藏

支那そばは 華香樓

専門店の
平市銀座通り
電話七の二番

平公共職業安定所
所長 佐藤二郎
平市堂ノ前
電話五六二
四二七

協議會

伊藤齒科醫院

伊藤 一人
平市才樋小路一
電話三四五番

寒さの御用意に 障子紙
つきよ 國の譽印 カイ口灰
火持よい

小川屋商店

平市才樋小路

齋藤醫院

産科 婦人科
齋藤 正雄
平市南町
電九〇二